

岡山県高等学校教育研究会学校図書館部会  
岡山県高等学校図書館ネットワーク研究委員会（令和3年度第1回）議事録

日 時：令和3年7月13日（火）14:00～16:30

場 所：岡山大安寺中等教育学校 図書館

出席者：9名（欠席なし）

1 開会

2 報告・協議

(1) 今年度の研修について

・研修A オンライン初任者研修（6/11実施）報告

1時間半程度、ZOOMで実施。18人参加。接続準備や環境確認など大変な部分もあったが、困ったことを解決する場となり、開催して良かった。今後もオンラインか対面かは問わず、早い段階で行いたい。

・研修B

グループ研修の予定であったため、中止とした。合同研修の研修内容を担当するのが研修Bであるため、今後も合同研修が開催できない場合は、研修Bの実施は難しい。昨年度から取り組んでいる「授業準備研修（資料収集）」については、今年度中にグループ内でリストの精査を再度行い、メール等で全体へ共有することで一区切りとする。

(2) 学校図書館システム担当班より

・学校図書館間横断検索（ソフテック版）について

現在試行として導入している、学校図書館間横断検索の追加募集を参加希望調査の形で行う予定。近日中に文書を各校へ送付する。1～2年程度を試行とし、試行終了時に採用の最終判断をする計画であるため、今年度末頃には、採用・不採用に関するアンケート調査を行う予定。

・ICT環境・整備についての調査研究

オンラインでの研修実施を行いやすくするためにも、各校のICT環境等に関する調査を行う予定。生徒用の機器の整備状況なども含め、図書館の管理下にあるICT機器類についての調査を今年度中にGoogleフォームで実施する。調査結果は、全体へ提供する。基本情報アンケートへの追加が必要な項目があれば、班内で検討し、ネット研で今後協議する。

(3) でーれーBOOKSについて

・でーれーBOOKS10周年の企画

今年度が9回目、来年度が10回目の実施となるため、10周年を契機として、今まで選定したものを広報し、さらなる読書推進に役立てるような企画を計画中。10年分の結果をまとめることを考慮すると、令和5年度の実施を目指したい。小冊子の作成や、ビブリオバトルなどの案が挙げられているが、研修として取り組めるような内容も含め、班内でもう少し検討する。

・でーれーBOOKS2022の大賞発表のタイミング

当初の締切等に変更はないが、1/14の2次投票締切後から2/25の大賞発表までの間に、学校司書のみに向けて大賞を報告する日を追加で設けたい。ただし、情報解禁については、従来通り大賞発表の日とする。1/21にメーリングリストで司書に向けて大賞発表を行い、情報解禁日までの期間を校内展示の準備等に活用してもらう。

(4) 学校図書館活用教育研究委員会より

・今年度の活動について

今年度は教員4名と司書5名で活動。年2回の委員会開催、学校図書館部会研究協議会で活動報告を行うほか、中国地区学校図書館研究大会での発表に向けて準備中。

・第1回委員会(6/22)で決定したことについて

昨年度実施した「総合的な探究の時間に関する調査」の分析結果を踏まえ、指導案やワークシートの事例収集に取り組み、活用方法などとともにホームページへの公開を目指す。また、探究学習に役立つリンク集を作成しホームページに公開している。今後情報検索の方法に関する動画も公開する。県立図書館と連携し、8月末頃に行われる探究に関する館内企画展へ協力する。

・県立図書館への要望

昨年度の委員会で要望した教員向けのリモート研修に関して、その後の動きがあれば教えてほしい。  
→現在までに実現に至ってはいない。担当する部署へ伝え、今後検討する。  
ホームページ上の「学校図書館のみなさんへ」という現在の名称では、教員に届きにくい。授業に役立つリンク集や教育関係新着図書などをまとめ、名称を変更するか教員向けのページを新設してほしい。さらに活用研のページのリンクを貼っていただきたい。  
→検討する。

(5) 高校図書館間サポート校事業について

・今年度のサポート校組み合わせ

確定版が完成。司書部会ホームページ上に掲載。

・サポート校年度末アンケート

利用してよかったなどの前向きな意見も多く、今後もサポート校事業を続けていきたい。一方で、サポートを受ける側には、些細なことを質問しにくいなどの遠慮が生じているようなので、気軽にサポートを受けてもらえるようなものにしていきたい。

(6) 県事務局より

・岡山県高校図書館司書部会HPの再構築について(提案)

昨年度より議題に挙がっていた事項だが、手続き上の課題が多く早期実現は難しいため、一度取り下げたい。

(7) 岡山県立図書館より

・搬送便等に関する資料

5月の合同司書部会で配布予定だったお知らせについて、今年度は会が中止となったため、近日中に各校へ案内する予定。

・学校セット

学校セットに関する意見・要望・リクエスト等あれば10月末頃までに県立図書館協力班まで寄せてほしい。また、今年度も学校セットの巡回展示事業を実施している。特に県立図書館の資料の利用方法がわからない学校、初任者校や経験の浅い学校はぜひこの機会を活用してほしい。

・生徒教職員向けのページリンクについて

県立図書館が作成している生徒教職員向けの図書館利用を促すWebページについて、学校や学校図書館のホームページにリンクやバナーを貼るなど、引き続きお願いしたい。

→LibFinder上など学校図書館システムを活用してみてもという意見も聞いている。

・搬送便のハンドブック

→学校図書館向けの協力ハンドブックの改訂してもらいたい。

県立図書館システム更新に伴い、搬送便等に関するハンドブックの改定を予定している。

→県立図書館の利用できるサービスについて簡潔にまとめたものを毎年度当初に別途配布してほしい。

(8) その他

・MLでの質問への返信について

質問に対して回答を全体返信する、もしくは、質問者が回答をまとめるなどして、全体で共有する形にしたい。質問と回答を司書部会のホームページ上に掲載すれば、広く知ってもらえるが、内容を公開することへの判断が難しい。

→よく聞かれる質問などは研修として取り上げ、その研修内容をホームページに掲載するのはどうか。回答を共有することについて、引き続きメーリングリストで呼びかけたい。

・来年度の方向性について

来年度の研修の実施を決定する時期をどうするか検討中。ネット研第2回会議は年度末となるため、もう少し早い段階で方向性を示したい。

今年度末は各班のメンバー交代を予定しているため、来年度当初に合同司書部会を開催する場合、今年度末のメンバー確定後では、研修準備が間に合わない。来年度第1回目の合同司書部会では、研修Bは行わず、午前中に研修A（初任研）と研修Aに出席しない担当で係会議を行い、午後から支部ごとの協議連絡等を行う形であれば、実現可能。

今年12月頃に班の新メンバーを決める案も出たが、年度内に係が残っている場合は、負担が重なることになるため却下。

→秋頃にネット研で相談し、来年度は合同で研修を行うか、今年度同様支部単位で研修を行うかを決定する。支部研修のみなら、研修B担当は不要となるが、年間通して支部研修という形になっても、研修B担当は決めておく方がいいのではないかと。一旦なくして復活させる方法より、継続して担当を決めておく方法かどうかという意見が出た。

### 3 連絡

- ・ ネット研各班のメンバー交代について

年度末に向けて各支部で交代を呼びかけていく。各班の交代人数を後日提案する予定。

### 4 閉会